



医療スタッフのページ

睡眠時無呼吸症候群をご存知ですか

臨床検査科

睡眠時無呼吸症候群とは睡眠中断続的に呼吸が停止または減少を繰り返し、その結果日中の強い眠気や集中力の低下などの症状がでます。日中の眠気は、交通事故や会議中の居眠りなど社会生活に問題を起こします。また、生活習慣病と密接に関連し、例えば高血圧は2倍、狭心症・心筋梗塞は3倍、脳血管障害は4倍という報告があります。また糖尿病や高脂血症の合併が多いことがわかっています。

診断するには1泊入院し、終夜睡眠ポリグラフという検査が必要です。この検査は睡眠状態(脳波・筋電図・眼球運動)

と呼吸状態(胸と腹の動き・呼吸・血液中の酸素量)を測定します。顔や頭胸腹部に電極やセンサーを装着しますので少し気なるかもしれませんが痛みは有りません。

睡眠時無呼吸症候群の

土曜日・日曜日・祝日の1泊入院検査を始めました。

11月より土曜・日曜・祝日の睡眠時無呼吸症候群の1泊入院検査を始めました。仕事や家庭の事情で平日に入院して検査を受けられない方も休日を利用して検査を受けられます。

Epworthの眠気テスト (ESS=Epworth sleepiness scale、※Epworth=作成者名)

	状 況	点 数
1	座って読書をしているとき	0 1 2 3
2	テレビを見ているとき	0 1 2 3
3	公の場所で座ってなにもしないとき(会議、劇場)	0 1 2 3
4	1時間続けて車に乗せてもらっているとき	0 1 2 3
5	状況が許せば、午後横になって休息するとき	0 1 2 3
6	座って誰かと話をしているとき	0 1 2 3
7	昼食後(お酒を飲まずに)静かに座っているとき	0 1 2 3
8	車で渋滞などで2~3分とまっているとき	0 1 2 3

0:決して眠くならない 1:時々眠くなる 2:1と3のあいだ 3:眠くなることが多い

判定 合計点 ●0~5 正常 ●6~9 注意 ●10以上 検査・治療が必要

